

Weekly Report

よいことのために手を取りあおう

2025-2026 関根信行年度 第12回

通算 2890 例会

令和7年10月16日(木)
10月第3例会

本日の例会

例会場 料亭ふな又
点鐘 18:00
テーマ 部門セミナー報告②
主管 会長 幹事

- ・ロータリーソング
手に手つないで
- ・四つのテスト・ロータリーの目的
小林 篤 幹事

次回例会案内

令和7年11月8日(土)

例会場 米山梅吉記念館
点鐘 12:30
集合 7:30
埼玉りそな銀行前

2025-2026 年度 岩槻ロータリークラブ

会長 関根信行
幹事 小林 篤
会場出席・公共イメージ委員長 星 和彦
例会場 ふな又
例会日 木曜日
点 鐘 第1・第2 12:30
第3 18:00

クラブ事務所

さいたま市岩槻区本町 3-8-2-203
TEL 048-758-0680
FAX 048-758-0681
MAIL info@iwatsuki-rotaryclub.jp



会長の時間

第63代会長 関根信行



皆さま、本日はお集まりいただき、誠にありがとうございます。

本日の卓話の時間ですが、何をお話ししようかと少し悩んでいたのですが、最近感じている「自信の持ち方」について、少し触れてみたいと思います。

さて、今年もノーベル賞の話題がありました。先週も少し触れましたが、日本人の受賞者が2名いらっしやったことに、私は本当に感動しました。坂口志文先生と北川進先生のご活躍です。特に北川先生の言葉の中に、「幸運は準備された心に宿る」という一節がありました。これは、フ

ランスの細菌学者ルイ・パストゥールの言葉でもあります。

科学や努力というものは、時間がかかるもの。偶然の成功ではなく、日々の積み重ねと備えがあってこそ、チャンスを掴めるのだと、改めて感じました。

その流れの中で、10月2日に行われたポリオ募金活動では、皆さまのご協力により、わずか1時間で38,008円もの募金が集まりました。これは本当に素晴らしいことだと思います。

また翌日には、赤い羽根募金にも参加しました。インターアクトの生徒たちと一緒に活動したのですが、岩槻高等学校のインターアクト生が元気に声を上げながら募金を呼びかける姿に、私は深く感銘を受けました。

こうした若い世代の姿を、私たちがしっかりと発信していくことも大切だと感じました。

さらに昨日は、11月20日にふな又様で開催する岩槻ロータリークラブ主催の青少年作文コンクールに向けて、優秀作品4点を選定しました。

その中から、岩槻区長賞、岩槻中学校校長会賞、さいたま市PTA協議会岩槻区連合会会長賞、そして私、岩槻ロータリークラブ会長賞を決定するため、職業・青少年奉仕委員会の村上委員長、中村副委員長とともに、岩槻高校、岩槻区役所、岩槻中学校を訪問しました。

中学生たちの作品を改めて読んでみると、彼らの思いや考えに触れることができ、私たち大人がそれを共有し、つないでいく責任があるのだと強く感じました。

今、AIの進化や政治の変化など、世の中は大きな転換期を迎えています。そんな時代だからこそ、私たちロータリアンが果たすべき役割は非常に大きいと、最近特に感じています。

とはいえ、それは決して大げさなことではなく、一人ひとりが小さな行動を積み重ねることで、大きな変化を生み出すことができるのではないのでしょうか。

これからも「準備された心」を大切にしながら、未来をより良くするために、皆さまと共に活動してまいりたいと思います。

拙い話ではありましたが、以上で会長の時間とさせていただきます。

本日は部門セミナーとなります。皆さまといろいろなお話ができることを楽しみにしております。どうぞよろしくお願いいたします。

幹事報告

幹事 小林 篤

・国際ロータリー第2770地区松本輝夫指名委員長より、10月15日に指名委員会が開催され、厳正な選考の結果2028-2029年度のガバナーとして桶川ロータリークラブの前島昌文（まえしままさふみ）会員が全員一致で選出されました。



・20252-26年度カバナー会 田中靖議長からの依頼。姉妹クラブ・友好クラブ並びに姉妹地区・友好地区に関する情報提供のお願いが届きました。

・岩槻東ロータリークラブより「第3回親睦ゴルフコンペ」の案内が届いた。

日時：10月30日（木）9：08 スタート

場所：プレステージカントリークラブ

参加希望の方は10月23日までに申し出ください。

・大宮東ロータリークラブより「ガバナーエレクト結団式壮行会」の案内が届いております。

日時 11月26日（水）17：30 受付 18：00 点鐘

・公益財団法人ロータリー米山記念奨学会より「ハイライト米山10月号」「米山学友の群像 vol.6」「2024年度の事業報告書」が届きました。

・リコーより「バリュープレゼンテーション2025IN埼玉」（11/12-13さいたまスーパーアリーナ開催）に関する資料が届きました。

以上、ご一読お願い申し上げます。

部門セミナー報告

●社会奉仕部門セミナー

地区地域社会奉仕委員長 田畑寛樹

先日開催されました社会奉仕部門ラーニングセミナーについて、ご報告申し上げます。



令和7年8月30日、埼玉県民健康センターにて本セミナーが開催されました。医療関係の方達が使うような会場で、私自身初めて訪れる施設でした。駐車場の案内などで少々戸惑いもありましたが、無事に参加することができました。

当クラブからは、奉仕・支援部門の内藤部門委員長がご出席くださいました。

本セミナーは、浦和東ロータリークラブの三井由美子様が社会奉仕部門委員長として企画・運営されたもので、私も準備段階から関わらせていただきました。

三井委員長は水道事業に携わる方で、今年の1月頃から何度も打ち合わせを重ね、セミナーのテーマを「近江商人の三方よしの精神」に決めました。

当日は100名以上の参加者が集まり、皆様の向上心が感じられる、非常に有意義な会となりました。

三方よしの学び

「三方よし」とは、近江商人の理念であり、「売り手よし」「買い手よし」「世間よし」の三者が満足する商いを目指す考え方です。

この理念は、現代のCSR（企業の社会的責任）やSDGs（持続可能な開発目標）にも通じるものであり、ロータリーの「四つのテスト」にも深く響き合うものだと感じました。

真実かどうか → 誠実な取引（買い手よし）

みんなに公平か → 売り手と買い手のバランス

好意と友情を深めるか → 世間よし

みんなのためになるか → 社会貢献

また、近江商人の「陰徳善事（いんとくぜんじ）」という考え方にも触れました。

これは、人知れず善行を積むことを意味し、神社仏閣への寄進や橋の架け替え、学校建設など、社会のために尽くす姿勢を表しています。

現代における三方よしの実践

現代社会が抱える課題（環境問題、少子高齢化、経済格差など）に対しても、「三方よし」の視点は非常に有効です。企業や団体が利益だけでなく、顧客・社会・社員・株主など、関係するすべての人々の幸福を考えることが求められています。

埼玉県にも、近江商人の精神を受け継ぐような企業が存在します。例えば、秩父事件の際に炊き出しを行い、地域に貢献した八尾百貨店のように、日頃から「三方よし」を実践することで、地域からの信頼を得ている事例も紹介されました。

結びに

今回のセミナーを通じて、ロータリーの「調和の奉仕」や「四つのテスト」と、近江商人の「三方よし」の精神が深く共鳴していることを改めて実感しました。

そして、これらの理念の根底には「愛」があるのではないかと、私は感じています。世界の理解、親善、平和、そして万物の安泰を願いながら、愛に基づいた行動を重ねていくことが、私たちの活動の本質なのではないでしょうか。

今後も皆様とともに心をひとつにして活動が続けてまいりたいと思います。ご清聴、誠にありがとうございました。

●公共イメージ部門セミナー

会場出席・公共イメージ委員会

副委員長 駒澤あい

皆様こんばんは。
先日、7月18日（金）に上尾市文化センターにて開催された「地区3部門合同セミナー」に参加いたしましたので、公共イメージ部門の分科会についてご報告申し上げます。



第1部：

外部講師による講演

第1部では、2008年北京オリンピック・韓国戦での名プレーで知られる元プロ野球選手、G.G.佐藤氏（ジージーさとう、本名佐藤隆彦）による講演が行われました。会場は満席で、皆様の期待の高さが感じられる熱気に包まれていました。

佐藤氏の講演テーマは「失敗がない人生には成功もない」でした。冒頭、オリンピック映像とともに流れたメッセージには、「死にたいと思った過去も、変えることができる」「できるかできないかではなく、やるかやらないか」という力強い言葉があり、深く心に響きました。

佐藤氏は、自分を満たすことが周囲の幸せにつながると説き、以下の3つの実践を紹介されました。

1. **自分の頑張りを認めること**
「小さなことでも『よくやった』と自分に声をかける」
2. **人と比べないこと**
「昨日の自分と比べて成長していれば、それで十分」
3. **感謝を言葉にすること**
「『ありがとう』を伝えることで、相手も自分も満たされる」

失敗は誰にでもあるもの。その失敗をどう受け止め、どう生かすかが成功への鍵であるという言葉に、私自身も深く共感し、今後の生活や活動に活かしていきたいと感じました。

第2部：

公共イメージ部門の活動報告とディスカッション

第2部では、青木委員長より「勝つことだけでなく、負けた経験から学ぶ姿勢がロータリーの公共イメージ向上につながる」とのメッセージがありました。

続いて、7月13日に開催された第1・2・3地域合同公共イメージ向上セミナーの報告がありました。

第1～第3地域の公共イメージ委員長、ガバナー、ガバナーエレクトが参加し、「一人ひとりがロータリーの顔である」という意識を共有しました。

現在の広報活動としては、以下のSNS・メディアが活用されています。

- LINE 公式アカウント（ポータルサイト・動画・マイロータリーへの一括アクセス）
- YouTube「未来の扉」
- Facebook・Instagram

登録者が増えることで、より多くの方にロータリーの魅力を伝えることが可能となるため、各クラブでの積極的な活用が呼びかけられました。

また、5月20日に開催された地区クラブリーダーセミナーでは、各クラブの公共イメージ活動の共有と今後の取り組みについて意見交換が行われました。SNS発信や地域イベントへの協賛が主な活動でしたが、内部への発信が不足しているという課題も共有されました。

今後の方向性としては、以下のような提案がありました。

- ポスター・チラシなどのアナログ媒体の活用
- 自治体広報との連携
- 野外奉仕活動の強化

グループディスカッション：「会員増強につながる公共イメージとは」

5つのグループに分かれて、具体的な提案がまとめられました。

グループ1：地域の祭りやフェスへの出店、オープン例会の開催、他団体との連携

グループ2：若手・女性に参加しやすいイベント（ゴルフ・ホール会など）、地区大会の外部公開

グループ3：イベント時のチラシ配布、PR資料のひな形活用、SNS・HP発信の強化

グループ4：SNS投稿を内向きから外向きへ、同好会やイベントを通じた楽しさの発信

グループ5：「ロータリーが何をしている団体かわからない」という声への対応、駅前看板や紹介活動の強化
活発な意見交換が行われ私自身も多くの刺激を受けました。

まとめ

今回のセミナーを通じて、特に印象に残った点は以下の3つです。

1. **認知度の向上が第一歩であること**
2. **共感を呼ぶストーリーの重要性**
3. **一人ひとりがロータリーの顔であるという意識の醸成**

SNS・紙媒体・イベントなどを組み合わせ、外に開かれたロータリーを目指すことが今後の課題であり目標です。

最後に、今回のセミナーで得た貴重な学びを、今後の公共イメージ活動に活かしてまいりたいと思います。

以上で、公共イメージ部門分科会の報告を終わります。ご清聴ありがとうございました。

●青少年奉仕部門セミナー

職業・青少年奉仕委員長 村上 泉

9月6日（土）、大宮ソニックシティ国際会議室において開催された青少年部門セミナーに根会長、内藤部門委員長とともに出席して参りました。

その中で、アンガーマネジメントに関する講習を受けてきましたので、その内容を共有させていただきます。



アンガーマネジメントとは

「アンガーマネジメント」とは、怒らないことを目指すのではなく、「怒る必要のないことには怒らない」「違いを受け入れ、人間関係をより良くする」ための心理トレーニングです。

近年、企業内でもハラスメントやパワハラへの関心が高まる中で、非常に重要な考え方だと感じました。私自身、職場では子どもたちと接することが多く、怒りをぶつけるような場面は少ないのですが、話を聞きながら思い浮かんだのは、夫のことでした。（笑）「私も気をつけなければ」と、改めて自分を見つめ直す機会となりました。

怒りの感情と6秒ルール

日本アンガーマネジメント協会の方からは、「怒りは感じた瞬間から6～7秒間、黙ってやり過ごすことで、感情が落ち着く」との説明がありました。実際に私も、言い合いになりそうな場面で「6秒…1、2…」と数えてみたところ、相手も少し間を置くことで空気が変わり、喧嘩に発展せずに済んだ経験がありました。

怒りは「第二の感情」

怒りは「第二の感情」とも言われており、その背景には「悲しい」「つらい」「苦しい」といった一次感情が隠れていることが多いそうです。

そうした感情に気づくことが、怒りをコントロールする第一歩になります。

コーピング・マントラの紹介

怒りを鎮めるための「コーピング・マントラ（心を落ち着かせる言葉）」も紹介されました。たとえば：

- ・ 「大丈夫、大丈夫」
- ・ 「なんとかなるさ」
- ・ 「1ヶ月後には忘れてる」
- ・ 「きっといいことがある」
- ・ 「相手も悪気があって言ってるわけじゃない」

こうした言葉を自分の中に持っておくことで、感情の爆発を防ぐ助けになります。

ワークと診断テスト

研修中には、以下のようなワークも行われました。

- ・ 1週間を振り返り、「とても怒ったこと」「少しイラッとしたこと」などを紙に書き出す
- ・ アンガーマネジメント診断テストで、自分の怒りの傾向を知る

まとめ

怒りの感情は誰にでもあるものですが、それをどう受け止め、どう表現するかが人間関係を大きく左右します。今回の研修を通じて、以下のことを学びました。

- ・ 怒りは一時的な感情であり、6秒待つことで冷静になれる
- ・ 怒りの裏には別の感情があることに気づくことが大切
- ・ 自分の感情の傾向を知ること、より良い対応ができる
- ・ 感謝や思いやりの言葉を意識的に伝えることが、関係性を良くする鍵になる

今後は、怒りを感じたときこそ「6秒待つ」を実践し、穏やかな人間関係を築いていきたいと思います。

ご清聴ありがとうございました。



四つのテスト・
ロータリーの目的唱和
小林篤幹事
会場出席・公共イメージ委員会
・ 司会
星 和彦委員長
・ 出席・スマイル報告
村上 泉委員

アンガーマネジメント診断

STEP 1

下記の質問に、当てはまる点数をつけてください。

まったくそう思わない	1点	どちらかというと思う	4点
そう思わない	2点	そう思う	5点
どちらかというと思わない	3点	まったくそう思う	6点

- Q01 世の中には尊重すべき規律があり、人はそれに従うべきだ
Q02 ものごとは納得いくまでつきつめたいと思う
Q03 自分がやっていることは正しいという自信がある
Q04 人の気持ちを間違えて理解していたことがよくある
Q05 性善説よりも性悪説のほうが正しいと思う
Q06 言いたいことははっきりと主張すべきだ
Q07 たとえ小さな不正でも見逃されるべきではないと思う
Q08 好き嫌いがはっきりしているほうだ
Q09 周りの人が自分のことを何とっているのか気になる
Q10 自分で決めたルールを大事にしている
Q11 人のいうことをそのまま素直に聞くのが苦手だ
Q12 後先考えずに行動できるタイプだ

STEP 2

点数をつけ終わったら、下記の計算をしてください。

① Q01 + Q07		④ Q04 + Q10	
② Q02 + Q08		⑤ Q05 + Q11	
③ Q03 + Q09		⑥ Q06 + Q12	

一番点数が高かったのは、①～⑥のうちどれですか？
※同点のものが2つ以上ある場合は、すべての番号を記入してください。



診断結果はQRコード
からご覧ください

スマイルBOX

- 遠藤隆雄 ご無沙汰しております。報告よろしくお願い致します。
- 小林 篤 本日、部門セミナー報告です。よろしくお願い致します。
- 駒澤あい 本日の部門セミナー報告よろしくお願い致します。
- 関根信行 今日部門セミナー報告です。どうぞよろしくお願い致します。
- 田畑寛樹 親愛なる皆様、こんばんは。本日は部門セミナー報告をさせていただきます。どうぞ宜しくお願い申し上げます。本日も何卒よろしくお願い申し上げます。
- 津多一幸 部門セミナー報告よろしくお願い致します。
- 星 和彦 本日もよろしくお願い致します。
- 松永 豪 本日もよろしくお願い致します。
- 三浦宣之 本日は宜しくお願い致します。
- 村上 泉 本日もよろしくお願い致します。

出席報告

会員数	出席数	免除者	MU	出席率
26	10		6	61.54%

スマイル報告

本日のスマイル合計	15,000 円
年間累計額	357,000 円